伊達市財政構造改革プログラム（２年目）の取組状況について

当初予算規模

※借換債：過去に発行した地方債の借換のために、新たに発行する地方債のこと

R7 当初　309 億円
借換債（440,500千円）除く
305 億円

R8 当初　312 億円
借換債（1,554,400千円）除く
297 億円

取組状況　歳出

歳出見直しの具体策	Ｒ７取組内容（Ｒ８当初予算）
1 総人件費の抑制（会計年度任用職員数）	▲３人＋任用変更17人（フルタイム→パートタイム）
2 内部管理経費削減の徹底	内部管理経費は11,821千円増だが公用車▲３台 （消耗品費9,507千円増、印刷製本費▲343千円、食糧費▲96千円、旅費86千円増、公用車管理2,667千円増）
3 事務事業の見直し	▲18事業（R7:460事業　R8：442事業）※当然減含む
4 補助金及び交付金の見直し	▲50,307千円（補助金及び交付金）　※当然減含む
5 投資的経費の規模の抑制	▲1,328,466千円（工事請負費）　※当然減含む
6 業務改革による人的・財政的負担の軽減	BPR業務委託による業務効率化の検討
7 伊達市公共施設等総合管理計画との連動	公共建築物適正化アクションプランの検討
8 公社の経営統合による財政的負担の適正化	運営方法見直し（経費削減）による公社支援の検討
9 公債費圧縮と平準化	交付税措置のある地方債の検討、資金区分の変更の検討、新たな借入先の検討

取組状況　歳入

歳入確保の具体策	Ｒ７取組内容（Ｒ８当初予算）
1 市税等収入の確保	滞納対応スキルアップ事業、WEB口座振替導入の検討
2 使用料・手数料等受益者負担適正化の推進	R7.11.11財プロ本部会議で着手
3 未利用財産の活用	２物件売却開始（伊達市保原町字泉町56番1の一部ほか）
4 その他の収入の確保	ふるさと納税返礼品開発（庁内で検討）

取組成果

●歳出については、物価高騰や人件費の増により、前年度比３億円増になったものの、借換債を除くと前年度比▲８億円で歳出見直しすることができましたが、更なる見直しを実施し予算規模290億円程度を目指していきます。
●歳入については、具体的な取組に着手できているので、引き続き自主財源の確保に努めていきます。